2020年2月20日(木)

■発 行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台

03-5295-0507 < FAX > 03-5295-0541 < e-mail > ntr@sv.rengo-net.or.jp<TEL>

## ご来賓の方々



連合 山本副事務局長



立憲民主党 枝野代表



国民民主党 泉政務調査会長



社民党 福島副党首

## 政策·制度要求実現2·13院内集会



あいさつする人見会長

に対する要請の報告が 上に上る各自治体・議員 策・制度要求について、 さんに心より感謝をし 各地方退連で600以 全国から結集された皆 日本退職者連合は、

〈人見会長あいさつ〉

者医療の2割化には絶 あり、とりわけ後期高齢 抑制と自己負担の増で て、大きな流れは給付の 社会保障制度を巡

が明らかになり、 央・地方での取り組み強 きく前進していること 化を図っていきます。 なる前進に向けて中 、その更

会保障の充実であり、政

治に対する信頼を取り

は憲法改正ではなく、

館講堂で院内集会を開きました。

退職者連合は、2月13日午前

10

時から参議院議員会

会場は350名の参加者と支援する国会議員の熱い

けです。 を通しても一向に解決不満や不安が国会審議 因は安倍首相にあるわ しません。その大きな原 国民の政治に対する

戻すことです。

が大事であり国民生活 戻していくということ くことが大事です。 政治の流れを変えてい 第一の政治を望みます。 て国民の合意の政治に って、安倍政権に対峙し 野党が大きくまとま 連合と連携し しながら

らに国会の中で野党に 答えていません。 汚職事件が摘発され、さ 対する質問に真面目に 一人の大臣の辞任、IR 国民が求めている 安倍首相になって森 加計、桜を見る会、 社の

対反対です。

豊かにどんな人も生涯

を全うできるようこの

共に頑張っていきまし

が進んでいけるよう

ょうと挨拶しました。

政策・制度要求実現2・13院内集会

## 山本副事務局長があいさつ 院内集会で連合・

創り出す」というテーマ 迎え「まもる、 いうことを具現化して 包摂そして持続可能と で運動を進めています。 んでいます。 いこうと運動に取り組 連合も昨年30 要求はシンプルです。 周年を

運動展開報告する



野田事務局長

## 院内集会での 課題提起

なっていないこと。年金代表の連合はメンバーにれていますが、被保険者 囲 医療•• 齢世帯問題や介護職員の での被用者保険の適用範 がされました。 介護保険制度での単身高 保障改革検討会が議論さ 報告がされました。 人材確保などの問題提起 政府では全世代型社会 同 後期高齢者の負担増 医療における医師偏 月 研究員から「年金、 介護」についての

退職者連合は、 水)、午後1時20

全国事務局長会議の質疑風景

地方退連からは、

方 運

ことなどが報告されま

集約が不足している

核兵器廃絶の署名活動 急カンパの集約結果。



連合の運動継承を提起する 逢見 連合会長代行

020年全国事務局長会議 連合本部3階会議室で2 で 20 分から 日 寄せられました。また継拡大への要望などが動での現退一致や地方 する大衆運動展開など 暴走する安倍政権に対 意見がありました。



第4次産業革命(IOT・ 子ども・高齢者とも繋がり、

AI) での人への配分が必

の御礼があり、運動を継承 代行から、災害カンパ協力

地域社会を強くする。

要と訴えました。

税制改革構想学習会 連合 春田局長 経済·社会政策局



HPご覧ください

を開催しました。

連合を代表し逢見会長

記事の詳細は退職者連合

(集会基調・アピール・

通常国会の課題 平川 連合総研

主管研究員

と。③連合は、 抜本改革に向けた議論を 社会保障制度や教育制度 ため、政府・政党には、 ②国民のくらしと将来の 付け回しを、これ以上続 り組んでいくとしまし の充実とあわせ、税制の けることは許されない。 よる将来世代への負担の 手先の対応の繰り返しに

されました。 展開も必要との意見が出 高齢者は収入が増えな 減税対策などの議論

# 2020全国事務局 による学習会 連合経済-社会政策局長

長会議を開催

報告・提案では、

地方

構想では、 としました。 とし、喫緊の対応が必要 能の低下、 高齢社会と所得再配分機 経済面での課題を超少子 春田局長は、 国の財政赤字 国内の社会・ 税制改革

ること。台風19号等緊

数で631件が報告さ

運動が拡大してい

県391自治体など総 における要請行動が 41

税制改革実現に向けて取「公平・連帯・納得」の 生活者の立場に立った 希望を確かなものとする 刻も早く開始するこ 税制改革に向け、 働く者・